

地域の将来像：住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより

2021.11.15

第59号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

ピンピン！ 元気いっぱい！



昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止から開催を見送りした「にこにこサロン」を10月12日を皮切りに10月22日、11月2日・17日・30日の5回開催します。1回目は佐々木整骨院の佐々木院長をお招きし「筋力アップ講座」と「Inbody検査」を実施しました。2回目は車窓から、ちょっと早めの紅葉を眺めながら西和賀町沢内の「碧祥寺」

に出向き、住職の「健康講話」を拝聴してきました。自らの体験談を交えながら、「仏の教え」、「健康で長生きの秘訣」など笑いを交えた講話を聞き、参加者の笑いで本堂を埋め尽くしました。その後、本堂の壁画や同敷地内にある碧祥寺博物館・マタギ収蔵庫・雪国生活用具館などを見学し、昔の雪国ならではの生活の様子を垣間見る事が出来ました。コロナ渦の中で外出の機会が無かったこともあり、楽しい一日を過ごして頂きました。



秋空の下「ナイスショット！」



今年第2回目のグラウンドゴルフ大会が、10月30日に25名のゴルファーが参加し旧小山田小学校クラウドを会場にして熱戦が繰り広げられました。当日は天候に恵まれ、曇ひとつない秋空の下、プレーを楽しみました。グラウンドコンディションも良く、ホールインワンが続出し、歓声がグラウンドいっぱいには響き渡っていました。入賞された皆さん、おめでとうございます。



- | | | |
|-----|---------|----------|
| 優勝 | ： 菊池 成俊 | (中川 目) |
| 準優勝 | ： 鎌田 副 | (前 田) |
| 第3位 | ： 菊池 忍 | (石鳩 岡) |
| 第4位 | ： 菅原 テツ | (留ヶ 森) |
| 第5位 | ： 田辺 静江 | (駒 形) |

校内マラソン大会に向け 猛練習

10月16日・23日の二日間、小学生を対象とした、「まほろばの郷かけっこ教室」を開催しました。今回、セントラルフィットネスクラブの中川かなえコーチをお招きし長距離のご指導を頂きました。短距離とはまた違った腕の振り、脚の運び方など基礎的なことを学び、最終日には、1・2年生は1km、3・4年生は1.5km、5・6年生は3kmと実際の距離を走ってみました。



1・2年生はまだペース配分がわからず最初から短距離並みの速さで走り出す子供もいましたが、途中で投げ出すこともなく、最後まで全員が完走しました。



今年短距離教室5日間、長距離教室2日間の開催をしました。小山田地域から将来のオリンピック陸上選手が出ることを期待しています。

いざという時の「おたすけ袋」



生活環境福祉部では10月から地域の高齢者宅等を対象に、急な入院等に役立てて頂きたいと、「入院セット」5セットを配布しました。洗面用具などの入院の際に必要なと思われる物をひとつの手提げバッグに納めてあります。出来たら使う事が無いようにしたいものです。いつまでも元気にピンピンと！



振興センター移転新築要望書を提出しました

10月15日、上田東一花巻市長へ「振興センター移転新築要望書」を提出しました。要望理由については、9月15日発行第58号のコミュニティだよりに掲載しております。要望理由に対しての市の説明は以下のとおりでした。今後、部会等で検討していく予定です。

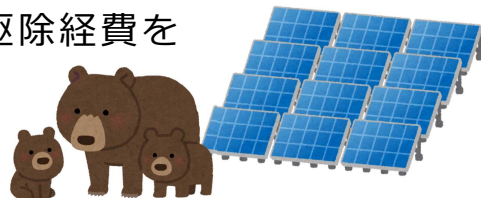
◎公共施設については、平成28年に基本方針について、市民のワークショップを開催した。また、議員説明会も開催した。パブリックコメントも行い、東和地域協議会にも回答している。そして実施計画を策定している。振興センターについては基本的に長寿命化を図って行くことで決定している。指定緊急避難所については、自治公民館で土砂災害特別警戒区域に該当しない場所については、自治公民館の整備に市がお金を出して、そこに避難するという計画もつくれる。公民館の方が良ければ緊急避難所として整備することも考えられる。これからは、どうすればよいか、市と地元で協議検討してほしい。

【地域からの一言】 《振興センター移転新築に対して》南川目・渡辺矩夫
 小学校跡地に移転するときは、屋根と校庭に太陽光発電設備を設置して、
 その売電収益を使って特養ホームに米をタダで供給してもらいたい。

農山漁村再工ネ法を使って、太陽光発電の地産地消をしてもらいたい。

県外のハゲタカ資本のフトコロに売電収益が入る花巻バイオマス発電は、
 地産地消ではない。売電収益が地元の収入になるものを地産地消と言う。

バイオマス発電所が山を丸裸にして、クマ、シカを山から追い出している
 ので「有害駆除は地元地域住民で」という前に、駆除経費を
 バイオマス発電所に請求しなければならない。



「安全安心な野菜は自宅から」

「サラリーマンは、土日百姓で自給用の無農薬
 稲作を」と呼びかけたい。野菜より米のほうが簡単であると思う。6月の土日、
 8回の除草機作業押しだけで4俵取れるのではないのか、と思う。

地元住民のために仕事をする議員、農業委員はいないのでしょうか。

【インフォメーション】

住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう

花巻市では、平成18年6月1日から新築住宅に、平成23年6月1日からすべ
 ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

この住宅用火災警報器、10年を目安に交換することが推奨さ
 れています。皆様のお宅の住宅用火災警報器は設置されてから
 何年経っていますか？この機会に確認してみましょう。



どうして交換しなければいけないの？

住宅用火災警報器の電池の寿命は、一般的なもので約10年と言われていま
 す。『電池切れならば、電池を交換すれば良いのでは？』と思われるかもしれま
 せん。しかし、古くなると本体内部の電子部品の劣化により、火災を感知し
 なくなるおそれがあります。皆様自身だけでなく、皆様の大切なご家族や財
 産を守るためです。10年を目安に、本体を交換しましょう。

《お問い合わせ》消防本部予防課：0198-22-6123

令和3年10月末現在

(): 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	59 (0)	90 (0)	74 (0)	164 (0)
第2行政区	147 (-1)	205 (-3)	195 (-7)	400 (-10)
第3行政区	155 (-2)	217 (-1)	232 (-1)	449 (-2)
第4行政区	111 (0)	182 (0)	176 (-2)	358 (-2)
計	472 (-3)	694 (-4)	677 (-10)	1,371 (-14)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています

～火の取扱いに注意を～

寒さが厳しくなり、火を使うこ
 とが多くなり火災の発生しやす
 い時季となりました。皆さんで
 火災を出さないよ
 う火災予防に務め
 ましょう。



(花巻市消防団第22分団)

発行：明日の小山田を考える会 電話：0198-42-2941
 ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp
 メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

薬王堂の快進撃の秘密？

明日の小山田を考える会
会長 菊池 保守

薬王堂は皆さんご存じのとおり県内企業として3社しかない東証一部上場企業である。昭和53年に創業し、約300店舗、1千億円を超える売り上げがある。

いつの年だったかは定かでないが、新春番組で薬王堂の西郷社長のインタビュー番組を見た時のことである。薬王堂が確か東証一部上場を果たした時であったと記憶しているが、その時の映像の中で西郷社長の傍らに、世界的な経済学者ピーター・ドラッカーの本があった。ドラッカーの名前は知っていたが、西郷社長の傍らに数冊の著書が並んでいたのが業績躍進の裏には理論的裏付けがあるのでは？と興味を持った次第である。

そこで、ドラッカーの名言集に出ているなかで少し気になったことを紹介させていただく。

- ①時間は最も乏しい資源であり、それが管理できなければ他の何事も管理することは出来ない。
 - ②成果とは常に成功することではない。そこには、間違いや失敗を許す余地がなければならない
 - ③ビジネスの目的の正当な定義はただひとつ。顧客を創り出すことである。
- そこでこの顧客の創造について、

- ・理想的な顧客、一番の優良顧客をイメージして考える
- ・顧客になってほしい人はだれか、顧客になっていない真の理由は何か
- ・意外な競争相手を見つける

例えば今時点で競争相手になっていないが、相手が何らかの改善を加えれば競争相手になりうるケースを見つける。といったものであるが、これらを理解したうえで実践することはなかなか容易ではない。商売をするうえで必要なスキルを身につけることは重要であるが、心がけと誠実さに勝るものはないと考える。きっと、薬王堂の快進撃の陰には、確かな戦略に加え、それを支えるスタッフに恵まれた、と思うのである。



【ちょっと一言】

インフルエンザの流行の時季となりました。コロナワクチン接種がまだの方に。コロナワクチンとインフルエンザワクチンをどう接種すればいいか悩んでいる方はおりませんか？一般社団法人日本感染症学会では、「互いに片方のワクチン接種から2週間後に接種するように」とされています。接種予定の皆さんは、接種時期の調整の検討が必要となりますね。（菊池）

